## 顔面神經ハ果シテ單純運動性ナル歟

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2017-10-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38641

此 w

本 ,

年

月 チ

五. 經

Ħ テ

行 =

東 之

學

會

杂焦 ıν

誌 ٦

第 ŀ

-Li

彮

第

-ti 者

號

著 編

者 >

許

諾 74

爰 發

チ 京

揭 醫

載

ス

Ł +

編

疑

プ

處

7

V

Æ

斯

學

1

爲

メ

盡

ス

志

=

於

テ

١٨

敢

テ

A

後

=

落

チ

ズ

ŀ

7

₹

=

此

顏

面

訷

經

1

研

窕

7

以

テ

セ

ラ

V

17

IJ 經

余

+

薄

識

淺

壆

=

3/ テ

テ

於

テ

尙

爭

릵

1

盤

渦

中 ヲ

=

彷

遑

ス

w

腦

神

1

ッ

ナ

ŋ

而

シ

余

步

=

伴

Ł

多

數

,

壆

者

3/

ァ

未

A

致

也

w

有

脊

椎

動

物

1

r#s

樞

及

## 鲁 雜 読 ((第 熕 拾 t 號

原

活

純 運 東 京 動 醫 性 科 大 ナ 學 w 解 剖 歟 學 敎

九

圖

<u>入</u>

顏

面

神

經

/۱

果

シ

テ

單

醫大 學學 得明 士手

室

於

テ

森 田 齊

次

(京東)

= 登 載 サ  $\nu$ ダ n 者 ナ w ガ 今 水 會 特 别 會 員

尽

見 = Ŀ ズ 末 因 余 稍 ij 種 神 ノ 今 ħ 經 豫 丿 系 告 統 方 セ 面 = 就 ン 3 ŀ ŋ テ 欲 施 1 ス サ 研 窕 w  $\nu$ 顮 タ ハ 從 y 面 神 然 來 經 殊 V 7 モ = 其 前 如 キ 成 世 績 紀 モ 意 少 ) 見 晚 7 牟 = = 至 E 於 比 テ 較 ケ ハ 頗 jν 解 剖 科 w 多 學 學 睃 1

進

=

加 1 信 歱 斯 敬 ス 研 是 乳 ス  $\nu$ 7 w 篴 大 余 ガ 行 澤 7 不 博 3/ 肖 得 士 1 1 余 モ 7 = 顧 ۱ر 與 自 上 ズ 力 7 自 ラ. w =

ガ

4

**=** 

ッ

涨

顏

面

神

經

۸,

 $\equiv$ 

叉

神

經

及

F.,

聽

神

經

ŀ

堅

ク

親

密

=

愆

合

シ

交

互

分

離

ス

w

ナ

得

ザ

w

共

同

斡

۴

ナ

ŋ 1

テ

延

髓

3

ij

起

ŋ

聽

神

經

及

ピ

Ξ

叉

斾

經

, 淺

眼

窩

神

經

ヲ

分

力

チ

頭

葢

軟

骨

1

側

面

=

力 ラ 進 ン デ 研 究 = 着 丰 セ シ 所 以 --

今 旦 報 告 1 主 意 ۱ر 余 , 檢 查 乜 シ

欲 ス n = 在 IJ

セ A

ン

ŀ

w

業

績

ヲ

參

照

**≥**⁄

脊

椎

動

物

般

=

就

テ

顏

面

神

經

1

狀

態

ヲ

比

較

シ

終

=

人

體

顏

面

神

經

7

Ŀ

=

推

及

Ξ

,

M

類

1

成

績

ヲ

記

**≥** 

A.

ッ

先

哲

ガ

爾

餘

1

高

筝

動

物

=

就

テ

得

ŋ

第 自 家 1

實

撿

甲 類 獲 7. 顏 Selachien 丽 神 經

魚

一ガ 1 3 ッ 鯊 Scillium conescens

骨 ナ 動 箛 存 弓 物 jν 1 ス 部 吻 1 總 w 合 膝 幹 共 (Hyoidbogengegend) 枝 狀 同 ŀ 及 孔三 神 顏 經 IIII E П 節 褲 叉 腔 顮 = 經 比 粘 ŀ 面 膜 較 = 孔 分 Ŧ ス = = 分 分 ベ カ 通 佈 循 キ w IJ 艄 テ ス ス モ 1 頭 面 N w 葢 神 後 前 ナ 斡 斡 經 7 ラ 即 即 ン 出 ۱ر 其 チ 間 デ チ 神 Æ 眼 舌 口 窩 杰 經 下 ナ 顟 神 節 Ţ 1 神 經 , 後 下 前 ッ 經 (N. palatinus) 側 1 隅 (N. hyomandibularis) 舳 = 面 3 經 現 y 節 7 後 = ヲ ν 側 叉 形 直 神 面 成 = 經 上 3 ス 顟 7 此 y ŀ 分 結 神 神 ۱ر 岐 主 合 經 經 ス 節 ŀ ス ŀ 下 3/ w ハ 最 高 顎 テ 舌 等 神 小

恭 神 經 ۰۰ 顏 面 神 經 , 神 經 節 3 IJ 分 カ V 眼 窩 7 基 底 1 軟 骨 = 沿 フ テ 前 外 方 = 走 y 眼 窠 底 軟

口

葢

神

經

前

幹

下

顟

枝

ŀ

命

名

シ

۱ر

如

何

<u>ر</u> 膜

幹 ŀ

y

尕

睃

ス

w ŀ

ャ

次 デ

稍

後

方 **沙** 其

=

间

テ 走

y 眼 =

窠

軟

骨

,

外

緣

ŀ

П

葢 內

四

圖

m.

Ţ,

Ŀ

及

=

分

與

多

數

1

ス

勿

論

粘

膜

7

下

=

ラ

前

方

=

殆

方

形

骨

ŀ

間

3 ŋ テ

口

葢

粘

口

葢

方

形

骨

ナ

間

=

進

入

間

ヲ

下 方

向

テ

降

y

後

ニ

ッ

ヶ

骨 圖ルタ見リョ面背ノ鯊「ツコイガ」 圖 第 1 外 M.I.S (口葢神經ノ後枝) 緣 P.(口葢神經ノ前枝) -M.S.(青淺在收縮筋) M.D.ig.(二腹顆筋) G.F.(顏面神經節) 1 近ク = 於 テ 前 後 1 兩 枝 = 刕 岐 ス (イ)前 枝(第一 (三叉神経ノ淺眼窩神程)Vis. (三叉神経ノ深眼窩辨極)Vip. (舌下質神經)H.M. (三叉神經ノII,II1共同)V 圖 P.) ′、 固 有 1 口 進 第 小 其 葢 ス 前 沙 y , 口 ン lato-quadratum) 枝 經 部 入 走 1. 前 間 葢 外 神  $\Box$ (口)後 ヲ 過 シ IJ 並 葢 方 粘 緣 經 = = 附 r 分 鼻 行 方 出 膜 П = ヲ 枝(第 囊 近 佈 葢 シ 形 デ = 方 ŀ 廻 ۲. シ

骨

向

ヲ

轉

其

v

3

軟

骨

۲

テ

軟

骨

7

y

テ

 $\equiv$ 

氏

軟

骨

ŀ

口 腔

底 粘

膜

7 圖ルタ見りョ面側ノ鯊「ツコイガ」 晑 第 間 = 9 皮 下 = 現 ッ V 下 魙 關 節 (頤神經)ME. (粘膜枝(終枝))M.i.i. , M.Dig(二腹頸筋) (筋枝)M. 上 = 於 ·M.S.(背淺在收縮筋) テ (筋枝)M.R. Ξ 乃 至 四 本 " 終 骨 岐 枝 方 聽 方 IJ テ 此 ナ ŀ

幹

顏

面

神

經

).

神

經

節

Ŧ

y

分

ス

w

p

暫

時

眼

窠

1

後

壁

=

沿

ッ

舌

下

顎

婶

經、後

幹

第一

圖H.M.)

۲

1 間 ヲ 走 IJ 多 2 ) 小 枝 ヲ 周 圍 粘 膜 = 孙 與 Ý ッ ۸ 口 腔 底 粘 膜 前

筋 ス 達 w 枝 此 jν 間 シ 舌 枝 3 神 Ξ 經 下 y 吻 分 叉 ガ 顟 前 合 神 力 П ス v 經 葢 經 方 ラ 1 1 來 第 形 粘 骨 膜 N 枝 枝 所 . 7 下 ) ·ኑ 細 咀 ヲ 吻 端 順 通 合 小 =

间 殆 間 囊(Gehörcapsel)ト、噴孔(Spritzloch) (Hyomandibulare) 間 テ Æ ン 以 ゔ゚ -)-F 噴 テ 地 ク 孔 進 後 平 眼 Š = 壁 咽 篡 後 頭 ブ 突 外 粘 間 近 起 方 膜 ヲ 1 ŀ = ヲ 以 间 j 舌 後 上 前 下 テ 走 顎 デ

=

分

カ

iv

此

經

過

1

間

Ė

次

+

1

=

向

テ

走

y

腹

顎

筋

٠

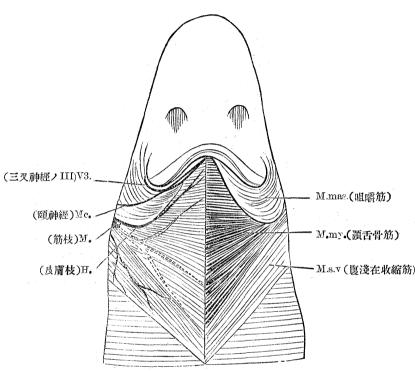
噴

扎

F

四

### 圖ルタ見リョ面腹ノ鯊「ツコイガ」 圖 第



= 分 佈 ス w 小 枝 (第 圖 s.) (口)筋枝(第 圖 R. m.) 此 枝 ハ 數 條 1 小 枝 ŀ ナ ŋ テ 舌 下 顋

(イ)質

孔

1

壁

枝

ヲ

出

ス

乃 神 至 經 斡 條 ノ 後 7 總 壁 幹 Ħ ヲ 1 起 以 テ y 起 或 リ、後 ۱ر 亦 頭

hyomandibularis, Ruge (33)' C2vd et Czh v.) 及ビ 腹 y 颚筋 (Tiesing (38), M. levator 1 背 テ 淺 腹 在 淺 背 收 在 筋 々膜 縮 收 縮 筋 並 (Tiesing (38) 筋 = = 皮膚 連 續 ス =

下

顎

關

節

近

ŋ

=

停

止

ス

jν

所

部

及

£"

後

頭

部

ノ

皮

膚

3

y

起

ij

テ

ficialis dorsalis Vetter(39) 氏 / M. Constrictor super-(八)頤 神 ۲ 經 總 N. mentalis (第 稱 筋二分

氏

因

N

Ruge (33) へ C<sub>2</sub>v d) 配

チ

シ

所

起

Eischer, (7) Osawa (27) 、 粒 皮下 = 現 ワレ

下

頸

神

經

幹

ガ

圖

之

v

۱۷

大

約

\_

條

=

シ

テ

重

---

ツ

۱ر

斡

彐

y

分

カ

w

`

Y

直

//"

=

下

方

=

走

リ、 下

顎

ノ

下

緣

及

F.

内

緣

3

眼 盾. = 瞼 前 间 部 テ = 於 及 走 F, ŋ テ 上 阻 幹 鄮 唇 3 , 筋 y 分 皮 1 麿 上 岐 = = **≥**⁄ 孙 於 斡 循 テ ŀ ス Ŀ 共 下 唇 = 顎 峬 外 方 神 經 經 ŀ = 下 走 ハ 初 唇 ŋ メ 神 皮 咡 經 下 鄮 = = 筋 分 現 ffi 1 9 上 ス jν E ヲ ` 下 唇 ャ 方 神 直 經 = = 幹 间 ٠٠ 直 テ 3 グ IJ 後 = ے 遠 下 前 -H\* 顎 方 カ = ش ŋ 平 進 前 ₹. 行 下 下 斡 セ

ŋ

ヲ

全十 内 此 終 Ħ w 下 兩 枝 頤 ŋ 方 顎 分 舌 軟 问 枝 骨 骨 岐 === ヲ 粘 筋 1 ŀ ス 口 間 膜 吻 w テ • 7 枝 躰 起 合 ャ (第 ス 舌 盾. , 始 其 軟 部 = \_ Æ 經 骨 下 及 中 , 顎 後 渦 = 第 線 H 沿 關 JU ヲ = 內 = フ 節 圖 间 附 テ 內 111 テ 方 近 前 走 7 = ۳. 1 內 穽 ۳. 间 上 下 粘 方 通 テ 走 膜 = シ 內 顎 下 骨 面 = テ ŋ 矛 テ 下 顎 此 顟 俪 走 枝 被 部 骨 ス IJ = フ , Æ, 對 皮 w 口 外 尶 小 腔 シ 皮 軟ッケ 下 枝 粘 = = 骨し 內 分 ヲ 膜 分 刕 F 下 ナ Hi ffii 前 舌 枝 ス、 カ ス ッ 軟 部 ŀ (~)筋 骨 名 Ξ 分 ッ ŀ ホ 皮 枝 艏 , 15 第 膚 間 テ **୬**⁄ 枝 口 = . 第 葢 及 出 如 = Ξ 揃 デ 何 其 圖 圖 經 此 H.)此 枝 7 V 7 枝 (.M Ħ دز

£

IJ

幹

走 通 y ŋ 起 3 育 テ y 其 淺 テ 在 筋 īF. 中 收 ノ 縮 淺 = 深 於 筋 \_\_ テ " 連 層 左 續 1 右 ヲ 間 合 -}-= シ 出 デ シ 腹 デ 縫 細 際 面 枝 ヲ 1 正 = 形 刕  $^{\dagger}$ 成 カ ス = 於 w jν テ 他 所 縫 1 1 顎 際 ヲ ッ 舌 作 骨 ハ 幹 筋 ス 所 (Ruge 3 y 1 分 腹 (33)淺 力 在 w ノ 收 ` ကြ 縮 P  $mv, C_2$ 後 筋 上 (Ruge 方 <u>h</u> γ) (33)向 ヲ 挐 テ

 $C_2 V$ superficiaeis 分 循 ventralis. ス (顎 舌 , 骨 筋 部 及 Ł. ŀ 腹 見 做 洛 シ 在 汐 收 y 縮 筋 ヲ 合 シ テ Tiesing (38) Vetter (40)氏 ۰ K Constrictor

## 富 士 鯨 Spinaxniger 鯊 1

富

1: 鯨 7 顏 面 媊 經 ハガ イ = ッ 鯊 = 於 ケ w ŀ 大 同 小 異 ナ y 即 富 士 黥 = 於 テ ٠, 顔 面 神 經 ۱ 聽 管

種

scher(7) Wilder(45)

R. alveolaris

致

ス

ŀ

=

分

カ

v

何

V

E

П

腔

,

粘

膜

=

孙

循

ス

w

知

覺

神

經

ナ

ス

w

枝

圖ルタ見リョ面腹ノ鯊「ツコイガー 第 四 (ゼルセ除切りヨ線中正チ骨類下ノ側右)

(口葢神經ノ後枝)M.i.s. (終枝ノ粘膜枝)M.i.i. (下顎骨)Mand. (舌骨)田. M,my.(頸舌骨筋)

M,gen.(頤舌骨筋) 鯊

類

7

顏

面

神

經

ヲ

摘

要

ス

形

骨

1

下

=

淮

入

ス

W. 口

7

差

ŋ

外

下

方

=

走

y

葢

方

者

=

於

テ

٠,

眼

箟

面

底

=

沿

۰۲

噴

孔

前

瞪

=

沿

フ

ラ

前

7

w

3

7-

IJ

Siren 葢 18 = 鰰 於 經 ケ ۱در w 水 陸 ŀ

兩

棲

類

7

П

v

Ê 節 經 內 ŀ  $\exists$ 下 П ŋ 顎 胘 起 枝 底 IJ 固 即 = チ 分 有 끍 偷 1

П

葢

鰰

面

神

經

同

シ

7

顏

的 7 7 細 形 + 成 1 ク シ 且 叉 ッ 其 同 v 數 1 3 y 幹 分 ヲ 1 岐 刕 **シ** 力 テ ッ

瓣 腔 管 底 丿 ۴ 枯 順 膜 孔 = ŀ 刕 循 間 ブ. = N テ 枝 口 但 昅

**≥**⁄

其

斡

1

中

稍

前

囊

=

於

ケ

w

ŀ

異

ナ

w

ハ

П

葢

帅

經

=

シ

テ

比

較

頭

粘

膜

背

方

現

ヮ

v 1

前

鯊

=

於

w 7

۲

同

ジ

ク

小

ナ

w

쾎

經

節

,

7

方

\_

位

ス

N

固 有

顔

面 市市

經

FL ケ

通

IJ

デ

酿

鶏

=

現

7

w

`

ス

V

۱۷۷

皷

索

,

成

尕

神、氏

ハ

此

經、

グマ

分っ

枝、

正

內

下

口

腔

底

粘

膜

=

分

佈

ス

w

鰰

經

۱ر

\_\_

木

ノ

斡

ヲ

以

テ

起

w

ŀ

雖

直

二

\_:

枝

=

孙

力

 $\nu$ 

各

4

異

ナ

ŋ

タ

w

經

次

\*

=

記

ス

w

鯉

=

於

テ

Æ

高

等

動

物

ノ

皷

索

神

經

=

比

較

t

IJ

ý m シ デ 此 П 腔 底 = 孙 循 ス w 帅 經 ヲ Ξ 1 學 者 ハ 前 噴 孔 神 經 (N. praespiracularis) ŀ æ 名 ッ ヶ

否 下 顎 神 經 後 幹 ٠, 他 1 有 袸 柱 動 物 = 等 シ ク 知 覺 (味 覺 纎 維 ヲ モ 含 ム 運 動 混 合 性 神 經 = 2 ラ 其

知 凰 纎 維 ハ 皮 圔 = 分 1ili ス jν 神 經 即 チ 願 蒯 經 終 枝 1 ッ ナ jν 皮 膚 枝 及 F. 粘 膜 枝 味 感 神 經 ナ

y

粘 膜 枝 字 內 下 願 枝 ハ  $\Box$ 腔 底 粘 膜 = 分 循 シ 촒 神 經 3 1) 來 w Ê 內 F ۲ 合 ス

枝 願 枝 吻 Ruge

粘 膜 枝 7 高 筝 動 物 皷 索 神 經 = 比 較 也 ŋ 而 3 テ 余 1 檢 セ シ 滥 = 於 テ آر 粘、 膜、 枝、 口 葢`

顟 ハ 魚 枝 頫 1. ノゝ = 於 テ 條、 シュ ハ 知 覺、 條 = 枝、 刕 ガヽ 高 離 等、 セ 動、 シ 物、 Æ 1 ノゝ 皷、 ナ 索、 ラ 神、 ン 經、 實 ヲゝ =

代

表

スト

ルマ

モヽ

ノゞ

如了

換

言

路 ヲ 取 y 口 腔 = 達 ス N ヲ 見 w 百 シ

及 舌 下 t 顎 哺 神 乳 動 經 物 ナ 運 = 於 動 テ 性 纎 ۱۷ Ξ 維 叉 ノ 分 繭 經 Mi 區 1 分 域 Mi ۰۰ Ruge(33)品 越 = 屬 氏 ス , w 鯊 所 ノ 1 記 顎 載 舌 骨 = 筋 \_\_\_ 致 (M.乜 ツ、水 mylohyoideus) 陸 兩 棲 類 R ٠ 鯊 蟲 類

1 直 接 刕 循 區 域 , H 二 7 w Æ , ナ y, Ruge(33)氏 ۷١ 水 陸 兩 棲 類 爬 蟲 類

=

於

テ

=

Ti 骨 müssen, 筋 = dass 叉 神 jener 經 = Nervenast 由 テ 支 配  $\operatorname{dem}$ セ ラ Trigeminus w ` 所 以 fremdartig ヲ 說 明 シ sei,テ 日 7 "Diese Thatsache glaube ich so deu-Z facialis losgeloster Strang

顎

於

テ

ハ

顏

面

神

綖

他 Trigeminus ァ 腦 神 經 sich ŀ angeschlossen habe" (3268) Ť 峢 合 ハ 只三 叉 神 經 1 間 ŀ

=

於

テ

見

jν

ァ

3

=

シ

テ

水

陸

兩

棲

類

爬

蟲

類

=

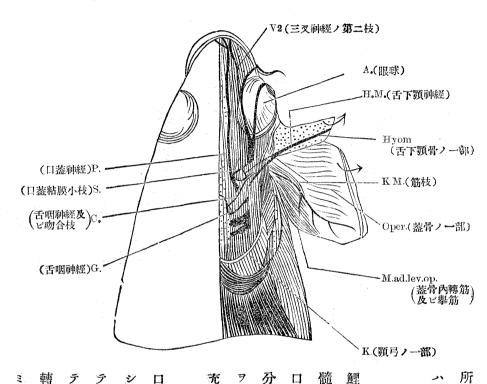
於

テ

見

iv

圖 ル タ 見 リ ョ 面 腹 ノ 鯉 圖 五 第 者ルタシハ現チ部ル出チ葢頭ノ經神リ去リ取チ膜粘葢口 弓顋 顎下)



分

=

確

4

w

ヲ

得

#

IJ

シ

П

葢

神

經

第

五

圖

P

轉 テ テ 3 3 口 鋤 前 テ 菘 37 П 骨 頭 內 腔 顳 神 葢 方 顬 經 1 = 外 出 骨 底 = ハ デ 側 <u>۔</u>۔ 斜 = 舌 -F 接 眼 存 Ξ 顎 於 3 走 筋 ス テ テ IJ 神 1 w 暫 前 起 固 經 叉 時 外 始 有 3 ŋ 神 方 1 1 經 後 內 孔 二 太 ノ 向 方 側 ヲ キ 第 テ 向 7 通 幹 進 ヲ 經 ŋ ے

形 岐 葢 3 ナ 神 成 ス ŋ 顮 此 經 起 セ 面 前 分 ŋ 加 ズ 聽 幹 岐 萷 經 部 ᡤ 方 ŀ 經 = 舌 = 下 進  $\equiv$ ŀ ハ 叉 ノ 鯊 顎 3 神 關 神 頭 1 葢 係 經 如 經 後 內 ŋ ۲ ٠ مر 仐 神 幹 = 共 度 經 於 ŀ =

=

テ

延

節

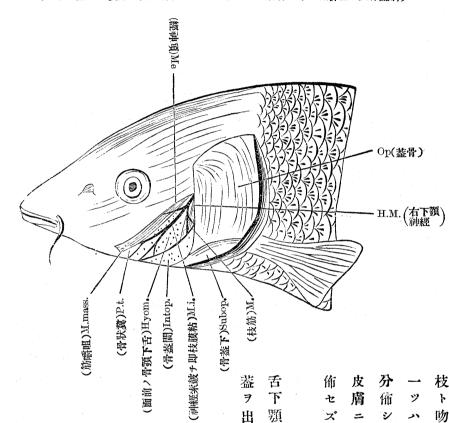
-

鯊 1 Z 舌 == 於 胭 神 硬 テ 骨 經 25 魚 認 或 Z ۵ در Teleostier 迷 ズ 走 神 經 ŀ 1 吻

合

艃

#### 側 圖 面 鯉 圖 六 第 (ス示ナ部ルス岐分デ出ナ管旨か經神顎下舌テシ勘切ナ部一筋嚼咀ヒ及骨蓋前)



舌 下 顎 神 經 (第 Æ. 圖 HM.) 刕

循

ス

其

經

過

中

۱۷

决

V

テ

分

ッ

۱۷

大

=

シ

テ

間

顎

骨

7

被

フ

小

=

テ

口

菾

ノ

前

部

1

粘

膜

=

合

シ

直 シ

٣.

條

>

終

枝

=

分

71

デ 神 テ 經 下 葢 行 枯 顏 膜 シ 面 Ξ 神 1 叉 經 上 神 管 ヲ 外 經 ヲ 下 通 3 方 IJ リ 來 テ

頭

向

N

デ 近 ヲ 1 前 F 外 ク 葢 緣 下 ヲ 前(Preaeoperculare) 方 弓 1 高 = 形 向 = サ ァ 走 テ 下 jν 骨 降 骨 管 管 シ

緣

1

入

ŋ

其

V

3

IJ

舌

下

顎

骨

後

骨

(Os hyomandibulare)

1

內

面

=

存

ス

jν

孔

ヲ

經

テ

骨

質

Ť

=

唦

合

枝

ŀ

合

シ

然

w

後

舌

下

顋

ヲ

出

眼

球

1

內

第 言心 ※第一会 号炮 全 -1-IJ. operculi, 筋 下  $\hat{s}$ 氏 逐 非 mandibularis,-Ruge , 終 7 後 n 舌 下 枝 Ŀ 薄 即 後 頸 下 ガ 方 前 = (ハ)前 骨 لتإ 其 下 デ 側 ナ 7 チ = = = 顎 mandibularis (Chordatymp. 枝 鯊 走 舌 筋 膜 及 1 現 水 3 次 方 骨 下 7 頥 ヲ = ノ y Ŀ y \* ワ L\* 脊 顎 分 分 起 謚 二 神 挐 神 M. levator operculi) , V 走 骨 通 經 偷 淺 y 經 中 チ = 四 直 (33)翼 Z タ 在 斜 附 jν 節 = シ ス 條 = 筋 Ξ mentalis 接 收 着 狀 テ w = ヲ 1 1 枝 骨 該 後 縮 後 形 本 <u>ئ</u> ス 小  $C_2$ md 第 下 テ 筋 w 成 ハ 筋 1 板 (Mesopterigoideum) \_\_ Ŧi. 前 ヲ 第 終 = 方 終 ス ヲ 圖 被 及 腹 枝 下 枝 = 比 = w 分 六 枝 Rm.方 = 包 較 走 F, 顎 7 = = ッ、 圖 比 7  $C_2$ md) 分 リ、頭 筋 分 ス ナ = ス Me) 7 此 較 與 岐 降 w 散 可 ク (Vetter (39) \ M. adductor aronum palatini 外 舌 ハ 葢 V 舌 ij セ ~ キ ス ス = リ ト 幹 其 (Ruge) 直 皮 底 ۱ر 昅 丽 jν 胭 分 幹 = V = 3 迄 神 神 3 シ 俯 命 分 リ 前 デ 3 ŋ 3 經 テ 經 ス、 名 分 IJ y 此 間 Mi 葢 起 枝 = ۱۷ ŀ 尙 分 岐 (三)後 及 シ 骨 合 幹 3 ス 分 y , タ 以 岐 ス 内 ス Ľ۳ 枝 テ 歾 ヺ゛ 下 前 葢 П jν w 轉 頭 ス 合 セ 方 粘 枝 腔 骨 葢 行 4 1 筋 w u 枝 ズ  $\widecheck{\Pi}$ = 內 前 方 膜 (Operculum) 第 枝 **=**. P 及 ヲ 走 下 葢 = = シ 枝 间 前 腔 出 五. jν テ 方 ヲ 進 分 第 骨 方 デ 粘 圖 筋 = 幹 以 入 力 六 = 舉 Ω = 膜 枝 叉 シ テ 此 间 走 w 3 圖 筋 = 第 前 M. i.) 降 神  $\Box$ y テ 1 IJ 分 (Vetter(39) \( \) M. adductor V 分 咀 표. 頭 腔 y 及 枝 上 經 fifi ハ 此 葢 圖 粘 嚼 緣 葢 岐 F. 幹 ٧٠ ス Ħ 膜 骨 枝 (R. m.) 骨 前 シ 1 ij = K jν 3 颁 附 方 タ ٠, 1 細 y 來 3 adductor 侧 內 Stannins 着 分 = jν 質 IJ 小 w 此 部 方 內 起 枝 後 面 ス 力 枝 ヲ 第 及 阻 v 间 ヲ w y w =

被

フ

所

.)

٠

幹

ァ

舌

Ŧi.

圖

P

合

ス

シ

ŀ

=

分

觤

ス、下

行

枝

ハ

幹

1

方

向

ヲ

以

テ

下

降

シ

皮

膚

=

至

w

小

枝

ヲ

分

チ

タ

w

後

翼

狀

骨

(Pterigoideum)

前

部

7

轉 筋

嚼

走

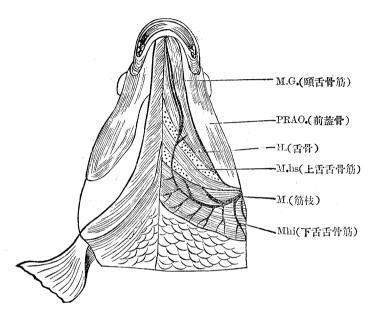
y

ŀ

ノ

IJ

#### 圖ルタ見リョ面腹ノ鯉 圖七 第



分 fiji ス 此 筋 1 腹 Ξ 淺 ٠٠ 在 尙 收 斡 縮 j 筋 經 過 = Ħ 比 較 = 孙 ス 可 岐 キ **ブ**。 (Ruge) w 多 7 下 1 舌 小

下

\_

於

テ

前

後

兩

枝

=

分

岐

ス

後

枝

ハ

葢

骨

結

締

組

織

内

ヲ

後

下

方

=

向

テ

走

. y

間

菘

骨

1

內

面

ナ

中

程

3

y

起

IJ

テ

胸

部

ノ

正

中

=

於

テ

左

右

合

シ

テ

縫

際

ヲ

形

成

ス

w

所

ノ

筋

即

チ

鯊

間

=

存

ス

jν

\_

角

形

間

隙

ヲ

充

ス

所

1

鬆

粗

舌

下

顎

骨

及

Ŀ"

間

葢

骨

(Interoperculare)

ŀ

(Praeoperculare)

ァ

下

デ

葢

骨

(Operculare)

ŀ

 $\mathbf{M}$ .)

舌

下

頸

痲

經

3

IJ

分

カ

jν

`

ャ

前

葢

骨

粘

膜

分

觤

ス

ŀ

覫

枝

第

六

及

ピ

第

七

圖

枝

分

觤

ス

前 枝

٠,٠

間

葢

骨

ŀ

舌

骨

ŀ

間

ヲ

通

y

皮

膚

Ξ

分

1111

ス

w

小

枝

ヲ

分

チ

A

w

後

舌

骨

3

ŋ

起

y

舌

骨

筋

(Vetter (36) M. hyohyoidens inferior)

=

テ

稍

3

放

散

2 下

顎

*j*.

內

面

<u>-</u>

附

着 ス

w

所

1

細

長

+

願

舌

骨

筋

(Vetter (39) M. geniohyoideus)

筋

腹

穽 間 通 = シ テ テ 皮 間 下 葢 骨 = 出 (Interoperculare) デ 舌 骨 = 沿 7 テ 前 舌 骨

y

下

顎

骨

內

面

沿

フ

テ

前

方

=

進

3

附

近

=

走

リ

下

頸

關

節

7

中

ヲ

通

y

テ

口

腔

內

=

入

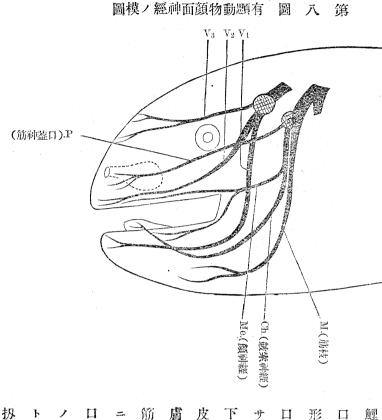
方

۲ ヲ

1

7 起 後 y. ラ 油 舌 = 骨 ij 下 笳 部 啠 H 1 T = 43 進 入 = 於 ス 此 テ 筛 縫 際 ノ ヲ 前 部 形 成 ۹۸ Ξ ス 叉 w 꺠 E 經 Ŧ 骨 = 筋 由 ラ 支 配 せ ラ w

|----| |-----| |• 其 hyohyoiden superior) 쬺 過 += 間



Mi ス jν 枝 F ス

葢

骨

3

¥

分

菾 成 1 神 ス 顏 經 iv 面 及 亷 7 ナ 經 E ク 不 ヲ 頭 下 摘 要 葢 顎 內 ズ 神 == 經 V 於 ٧٠ バ テ 神 分 經 岐 節 シ ヲ

蕊

蒯

經

٧,

П

腔

底

<u>ټ</u>

分

111

ス

w

枝

ヲ

出

舌

ラ

皮

枝 圔 顎 ズ(鷺 枝 即 胂 粘 經 チ ٢ 頥 膜 異 ハ 枝 神 -}-經 及 1 w ヲ F. 如 叉 分 筋 ク 枝 岐 混 神 粘 セ =, 合 經 膜 ズ 性 刕 ŀ 枝 幹 3 カ 闅 テ  $\nu$ 合 咀 其 シ ス

= = 岐 合 分 入 ス シ 缩 IJ ラ 筋 各 シ  $\equiv$ 枝 異 叉 -j-۱۷ 郦 纖 IJ 經 タ 1 及 如 W F, 經 ŋ 舌 舌 路

骨

弓

部

7

取

テ

囮

神

經

筋

唦

腔

孙

ヲ

被

フ

皮

膚

=

分

循

シ

۱۸

條

嚼

溢 ŀ 艃 = 於 ケ w 顏 面 椨 經 末

ラ

4

膚、 = 梢 枝 分` テ ヲ 其 佈 スト 分 120 口。 Mi 知 腔。 ス 覺。 w 粘、 が前 器 經 膜。 官 即 = > **分、依** チ 頥 施・テ 神 ス、生 經 ル、理 知·上 及 覺、方 F. 及、面 皮 廬 ٤,٥ 感、 枝 1) 覺、觀 =神。 经 運。 經、 ス 動、即 w 器、 チ Ħ-官、口 ハ 即、恭 大 チャ神 躰 筋、經 = 二、及 於 分· 皷 テ **備、素** 兩 スマ神 耆 ルッ經 相 節、粘 神。膜 致 經。 枝 ス ŀ w (二)皮 Æ

别 ス w ヲ 得 w Æ ノ == €/ テ 第 八 圖 ノ 摸 寫 二 示 ス ガ 如 シ

圖模經神面顏ノ間人 圖 九 第  $V_3$   $V_2$   $V_1$ Muse P.(淺大岩標部神經) C.( 数索神經) M.(主幹) (Nach Wiedercheim) GS.(蝴蝶口蓋神經節)

性

器

官

=

尕

循

ス

w

泥

合

性

ハ

知

覺

咸

味

感

及

F.

運

動

貔

察

ス

w

F

丰

ハ

顏

面

神

經

Ŀ 斯

3

y 如

魚

類

ノ

顔

面

꺠

經

ヲ ノ

1

ク

邠

缩

セ

w

器

官

區

動 斾 シ 性 經 m 各 ソ -)-痈 此 w 經 知 7 纎 覺 ゔ 維 威 知 覺 w ۱۷ 顔 及 ヲ 得 面 F. 裥 運 ベ

經 シ = 何 根 元 ŀ ナ 的 V (Ursprünglich) バ 知 覺 性

枝 如 ٠٠. 嵇 捕鹿 經 / 全 成 孙 ヲ 口

以

萷

=

П

菘

誧

經

ヲ

孙

枝

ス

N

ヲ

見

V

バ

知、 渦

覺、 #

П, =

神、 =

ハッ テ

神。

本。

性、殊

~ 鯉

經、於

額、ハ

面、他

經、神

二、經

來、末

二 ~ 梢

混、性

有、吻

スヽ合

誉

No ヲ

言言

經、 ~

繊、ザ

維、ル

ŀ

沃

出

ス

w

Æ

1

=

3/

テ

٧,

比

軗

的

細

1

ے

菾

神

經

۸.

鯊

=

於

テ

ハ

=

叉

神

經

ŀ

肳

合

€/

タ

N

緩

孙

眩

ス

w

ŀ

雕

其

囫

合

=

混

有

ス

w

成

分

=

シ

テ

敢

テ

他

1

腦

鰰

經

ŀ

1

闅

合

ヲ

要

セ

4

ル

モ

1

`

於

Ŀ

部

3

y

斡

ヲ

以

テ

旭

y

分

V

デ

以

上

1

\_\_

斡

ŀ

成

IJ

淺

眼

館

斾

經

ハ Ξ

叉

神

經

1

同

名

斡

ŀ

頰

神

經

۱۰

Ξ

叉

外、 魻

(原 著

y , 叉 具、 揃 ラゝ 有、 經 ント D' ス、 1 腔 IV. 底 E & ŀ 粘 肋 膜 合 70 ラゝ ス = 孙 w 塲 fiff 合 ス = w 於 ilii テ 經 Æ 即 存 チ 在 高 等 ス w 動 ヲ 物 見 1 v 皷 ٧٠ 索 恐、 神 ラヽ 經 クト ٧١ ٥ th 此。 較 成。 分、 III 毛》 7 額。 浦 面、 經 神。 ٧, 經。 鯊 = > 根。 如 元、 7 = 3 V

事、 見 尙 ザ゛ 此 (Gegenbaur(11), Pinkus(29),w 所 所 = 於 1 感。 テ 覺 神 言 經、 セ 9 N ŀ 淺 欲 眼。 ス Wiedersheim (44)) 宜 jν 神 經 水 棲  $\widehat{\mathbf{z}}$ 動 ophthalmicus superf.) 物 = 及 シ F. テ 有 此 尾 꺠 兩 經 棲 ハ 類 及、 延 = 髓 €، ۶ ۱د = 頰~ 他 で柏底 於 丿 テ 經。 其 固 V  $\mathbf{\hat{z}}$ 有 以 buccalis) 1 上 顔 7 動 面 蒯 ヲマ 物 經 有 = 於 根 スト ルマ ラ ナ

mandibularis 蔵、 テ 晌 覺 余 經 lat)器。 1 , 官 頥 1 = > 神 頸 ŀ 分ゝ 經 名 枝 循` ツ  $\widehat{\mathbf{z}}$ ŀ スト ケ 共 mentalis タ 120 = 感 IJ 或 髪っ 麩 ۸ر 神 v ŀ 其 經》 Æ 記 V 上 ナ 挛 シ 述 ij タ ŀ 1 ŀ N 堅 如 云 枝 ク ク 結 フ ۱۷ 余 此~ 合 = 威。 ァ , シ 覺。 檢 テ IJ 神。 查 粒 テ 經。 過 to Wiedersheim シ 幹、 ス 鯊 ∃ > IV 及 リっ モ F, 分。 (44)鯉 岐。 -}-= ショ IJ 於 氏 舌、 ŀ テ F-> ハ Ħ. 外 頸。 ۱ز ッ 此 下 神。以 顎 種 經、 ŀ. 1 枝 = > 顏 鯊  $(\mathbf{R}$ 混、 面 及

余 ス ハ w 希 ヲ 望 得 ス ザ 後 ij H シ 是 他 1 V 材 或 料 ۸د. ヲ 誻 得 家 テ 1 此 撿 疑 セ 問 シ ヲ 動 解 物 决 ŀ 它 余 ン 1 ٦ 撿 ヲ セ シ 動 物 ŀ 異 ナ jν = 基 因

第 比 較 ス

w

ナ

ラ

ン

欰

胂

經

幹

ヲ

發

見

有 尾 水 陸 兩 棲 類 (Urodelen)

有 尾 水 陸 兩 Humphry (19), Hoffmam (18), Osawa (27), Stannius (36), 棲 類 7 顮 丽 痲 經 ۱۷ Amphiuma (Fischer (7) 1 Wilder(45))額 如 # 破 格 7 面 ij 帅 ۴ 經 雕 節 毛 = 多 於 數 テ = 前 於 幹 テ ŀ اد

無

致、

モ

= **`** 

シア

テヽ

第。

八

圖 >

13

摸。

圖。

= 3

適。

スゝ

ス

7

1

=

於

テ

بالا

П

恭

īili.

經

۱د

稍

k

複

雜

F

ナ

リ三叉

神

經

ŀ

闅

合

シ、魚

類

有

尾

水

陸

兩

棲

類

於

テ

見

所ノ

願

經 後 腹  $\hat{\mathbf{z}}$ 绰 顟 ١ mentalis)、鹵 筋 = 舌 分 骨 力 弓  $\nu$ 部 槽 其 峬 筋 前 經 鋽 = 分 ۱ر (N. alyeolaris; Fischer(7) Wilder(45) 飾 口 溢 ス jν 神 筋 經 枝 (N. paltinus) 及 F. 小 皮 膚 = 枝 シ デ = 分 口 岐 濫 即 粘 ス チ 他 皷 膜 及 ァ 弦 神 神 t: 馵 經 經 腔 ŀ (Chorda tymp, Osawa (27) 7 \_ 吻 分 合 Mi シ、後 ハ三叉神 幹 願 及 加

是 魚 類 顔 面 神 經 比 較 n 枝、 岐、 高。 低。 差、 ア・ y • 1. 0 跳、枝、 數。 及、 ビ **分、** 

作器官 ハ

相**`** 一**`** 

じ 或 11 者 ハ 舌 咞 斾 經 ŀ 7 誾 = 在 ŋ

無 尾 水 陸 兩 棲 類 (Anuren, Gymnophionen.

尾 水 陸 兩 棲 類 1 顔 面 蒯 經 (Gaupp(10), Hoffmann(18), Stannins(36), Waldschmidt(41), Wetteville (42)

(10)神 , 經 Ħ  $(\mathbf{H}_{6}\mathbf{ffmanu}(18))$ mandibularis 7 = Anuren 致 ス ラ , 記 認 メ 載 ズ = 即 由 チ ν 否 ٠,٠ 下 願 顎 丽 神 經 經 ١ 名 3 ŋ 11,11 分 ŋ 岐 N 枝 ス w ヲ 皮 記 爥 ス 枝 v 1 Æ 其 ッ レ ヲ ハ Ganpp 餗

他 氵 有 尾 水 陸 兩 棲 類 = 等 <u>ئ</u> キ £ 7 ナ 1)

外

Ξ 爬 蟲 類 Reptirien,

幹 爬 **୬** テ 蟲 ŀ 成 全 類 如 w ク = \_\_\_ 於 丰 關 叉 ケ ۱۷ 係 jν 神 ۱د 顏 ッ 水 經 , 陸 面 3 邟 网 IJ 咖 經 經 棲 分 節 離 (Fischer(6), Hoffmann(18), Osawa(26), Stannius (36)) 粨 ヲ シ = 現 於 タ ハ ヶ ıν 疝 シ、三叉 jν 經 ŀ 根 显 神 ヲ ナ 經 以. ラ 及 テ ズ F, 起 其 舌 y 前 囮 顏 斡 ᆒ 面 ۱ر 酮 經 恭 經 ŀ 節 7 痈 峢 經 ヲ 合 形 = 枝 成 シ ۱۷ ヲ 魚 デハ シ 出 其 類 シ 水  $\nu$ ッ タ 陸 ァ Ħ jν ŋ IJ 兩 後(舌 前 棲 ヤ」(Osawa 後 類 阺 = 神 反 哺

郛.

動

物

,

額

(原 著

7 깷 ス 徐 ۴ 系 幹 1 = ۱ر 囫 孙 蛙 合 缩 屬 枝 ス ۸ر .=== w 於 或 筋 N ヶ 枝 w 種 及 頮 ガ F. 4n == 小 7 於 皮 詖 テ 膚 索 ۸, 枝 龓 顮 經 面 == 孙 舌 補 岐 ᡤ 經 ス 經 節 = 或 ッ 合 ハ テ 後 ス 斡 ŋ jν 7 3 = 腹 1) 於 筋 孙 頸 テ 岐 ۷١ 及 ス Ĭ 尙 F, 此 舌 葢 骨 後 粘 斡 弓 膜 部 及 Ħ ŋ 筋 F, 前 即 櫐. 經 チ 腔 叢 庈 = = 頸 分 合 筋 佈

ス

w

細

枝

ヲ

孙

71

ッ

次 フ ラ 可 4 +" キ jν = 點 舃 乇 7 ア 類 ıν ナ ヲ ヲ ŋ 此 IJ. 此 較 テ V ス 後 二 ~3 H 就 丰 撿 テ 順 查 Ź 序 1 韯 -籍 v 報 乏 Æ 然 告 シ セ ŋ シ 比 ン Hoffmanu 較 解 剖 E 上 , = 記 ٧. 載 直 接 ノ 如 = 爬 + ٧٠ 蟲 類 7 w 哺 乳 ١ 雖 戵 其 = 記 比 載 較 = ス 稍 H

疑

力

四神經 (Ellenberge(5), Krause(23), Müller(24))

۱ر

人

間

=

於

ケ

w

ŀ

同

シ

ク

\_\_

根

ヲ

以

テ

superficialis w シ 起 筋 タ 1) 枝 頹 w 後 及 面 錔 酺 E" major) 骨 皮 經 7 笳 節 = 贏 775 == 2 經 狀 於 テ 舌 デ (Subcutaneus 骨 醐 合 蝶 筋 シ \_\_\_` 其 忞 腹 v 頸 捕航 3 colli 經 筋 ı) 節 前 及 superior) 後 = ピ 舌 合 ナ 骨 シ 後 幹 = 局 孙 斡 部 ŀ 岐 即 ナ ۸, 顏 ス チ w 其 遪 面 前 外 頸 前市 斡 聽 筋 經 ハ 斾 1 淺 ノ 經 主 大 舌 幹 岩 系 匨 -}-ت 樣 鰰 シ 部 w 經 顮 テ 神 皷 面 經 及 索 F, 諸  $\hat{\mathbf{z}}$ 迷 簛 萷 經 走 = petrosus 斾 分 ヲ 分 經 缩 岐 ١ ス

皮、モ、以 膚、其、上 孙、 1 俯飞 **MF.** 尾 館<sup>®</sup>ス<sup>®</sup> スマ 120 ルッ 器。 .願。 官。 兩 = > "埔市 就 麵, 鞱 ヲゝ テマ 缺、觀、 IV " 縆 Ľ٣ 大》 哺 蜂" iv 乳 <u>-.</u> " 動 於 物 テゝ 相、 額 丽 致、 楠 セ 2005 12° Æ, 枝》 數 = ` シ 多、 テゝ 少、 有 分` 題 岐' 動 物 高 低 ŀ 」。 ナ゜ 差、 י ענ 7 所 只 雖

唦

合

ス

故

=

顏

面

疝

經

۵ ،

有

奢

椎

動

物

=

於

ラ

۱ر

動

物

,

異

ナ

w

=

從

テ

其

關

係

模

樣

=

多

少

1

差

異

T

ŋ

ŀ

雖

凡

可

**≥**⁄

III

チ

第

說

۱ر

顔。

面。

神。

經"

ノッ

大

部。

分"

200

單。

純い

運`

動。

性。

前前

經

=

y

F

間

根

,

性

質

不

明

ナ

y

١

云

フ

二

r

# 五、人體顏面神經

1, 係, 動、ハマ 間 物。哺、 二、乳、 顮 於、動、 面 ケ、物。 神 No 100 經 顏、大、 面、差、分 神、ナ、枝 經、ク、 粒 ハ、第、 渦 皆、九、 ٠, 此、圖、 旣 摸っ 闘、摸、 圖》 Λ = 0 示。 変っ 细 スト ガッ 所 加。 + E > 刀 7-0 以 テマ ラ 實。 此。 二、所、 無。 = 3 尾丶 贅。 水、 七日 陸、ズ、 雨。其。 棲、 # > 類 ナ、 ヨブルコ リ、枝、 以いい 上、闊、

是 者》 於 亮 適 ラ 解 ケッ 7: > = ス 7 依 有 w 得 血次 75 テ 顋 æ 如飞 = 0 友 此 動 , 就。 י ע 7 物 二 テマ 根》 見 -}y = 換 ナッ 元 於 ラ V ŋ • 的 ン ۲۴ テ 肯 入 ج نے ، 此 Å ス ハ 額。 FLF1 所 間 第 v THI " = 氵 八 ٠,۴ 神 顮 於 顏 摸 凡。 經。 THI 面 テ 圖 テっ = > 第 fili 脯 = ノゝ 含" 其 經 經 有。 有飞 , ァ 脊。  $\nu$ スマ 性 間 枝 動、以 質 ル 頣 别 物、上 成了 \_ 耙 7 A 15 分` 就 w 關 間 額。 ナ゜ テ 디 係 = 面 ルマ 7 シ 神 至 ۱ر カう 下 諸 即 經 Jν 將` 家 チ 垒 ハン迄 タマ 動 人。 17.5 ノ テ 亦" 間。 舒 物 F プ ハ 各 部 --- » 額、 其 大 有 體 ハ īfii V 定 ` 脊 他 神。 = = 型。 動 次 1 經 此 二、物 腦 較 ギ゛ 调》 補 ァ 答。 シ 於 #" **"** Ξ 經 枝、 得 H. 0 テ 說 3 y 下 モ 第 === 加、 分 箅` 九 ッ ワ ナ 摸 y ` ヲ 7 圖 得 ヲ =

intermedius) physiologische IJ ァ Gehirn keine sensible 假 令 ハ Schwalbe(35)氏 Bedeutung Fasern enthält, also ursprünglich ein rein motorischer 7 "Fest steht dagegen, nichts Sicheres bekannt dass der ist" Haupttheil des Facialis 7 記 韯 7 如 シ 第 DOJ. ist, 說 seinem über 顏、 面。 Austritt dessen 神。 經 aus

(32)氏 運 動。 性。 ノ "Abgesehen 而中。 經。 纖。 維 ノっ 外。 TOT = 0 Intermedius, 尚。 舌。 **ノっ** 前。 部。 welcher Geschmacksfasern = > 孙· 们。 スト No 味 覺 > 纖。 維。 führt, ヲゕ 混 ズ゜ ist der 100 ŀ 云 Facialis フ ---ア ein motorischer ij テ 假 令 ۱۰ Rauber

テリ

sible treten, wie es scheint, durch die portio intermedia hinzv." 🔀 "Diese Geschmacksfasern sollen dem Glosso-Ĭ Gegenbaur (12) 如 シ 第 Ξ 說 顏 氏 面 , Der Nerv (Facialis) führt von Ursprung an motorische und secretorische Fasern, senriin, 經 ٠, 運 動 性 葪 經 纎 維 7 外 = 知、 覺、 神。 經、 纖。 維、 ヲ。 混。 ズ、 ルっ 混、 合。 性、 神、 經、 -)ŋ ŀ 假 令

言志 落作 Bedeutung, Beim Mensehen findet er sich stark reducirt als N. petrosns superf, maj, wieder." 述 N. palatinus besitzt als Schleimhautnerv des primären Mundlhöhlendaches 7 哺 pharyngeus entstammen und von Ganglion oticum aber der Chorda zugehen." ~3 1 ŋ 乳 キ 如 動 þ . モ 云 ŋ 物 各 フ ナマ 動 說 IJ > i:" 物 = M 人 從 ヲ シ 間 へ パ 比 テ 7 浅大岩 、 較 人 有 間 也 シ 飅 1 上 淺 樣。 動 部っ = 物 大 於テ 岩 神。 1 П 樣 經。 其 愗 邟 ハ 然 蒯 經 魚 經 類 ル ۲۰ ヲ = 口 水 斷 此 챮 陸 較 ズ 1 兩 jν 筋 ス 棲 耳 = = 類 害 分 及 + シ 郁 毛 E" Mil 力 1 ス bei niederen Wirbelthieren eine grosse ラ 蟲 = w ズ 非 顏 類 ノ記 ŀ ノ 知**`** ザ 面 信 媊 jν 載 覺 ガ 經 ズ、Gaupp(10)氏へ"Der 性。 如 ノ 如 П, 運 シ "盗" ١ 動 ト澤大博士(26) 神 雖 性 纎 經 モ = , 只 維 比較ズ 單 1 = 上 通 路

於、 ケ、 dem dem N. petrosus superf. maj. gleichstellen." -ヲ モ w 生 其 假 יעו 理 外 シ petrosus superf. maj. der höheren Thiere." - 質。 テ 的 = 如飞 動 餇 多 100 ヤ」ノ報告コロク、"Auf Grund dessen könnte man.....nud der R. anterior des N. fucsialis selbst 物 鼻 IJ 顔、 試 腔 × 面。 神· 及 解 驗 剖 7 ٣, 經幹ョ 學 成 學 績 菍 者 ٥٧ ĵ リ分岐スル 每 1 部 稱 Ш 陽 ٠ フ 分 iv 性 俯 ガ = 知》 König(21) 氏 如 7 ス ク、淺 ラ iv 性: y. 知 神 覺 大 N 岩 然 ガ 經。 性 ノ当 リ放ニ人 樣 = > 湔 如 7 部 シ 經 神 ŀ ラマ 繈 (R. palatinus) entspricht sehr wahrscheinlich 雖 J. . 經 維 間ノ淺大岩様部 F (Debran, Langet Volkmann, Hein.) 7 ナっ = 混 7 ズ ヤ、哺 運 w 動 モ 性 乳 1 纎 動 ٥ 神 維 物 ア 經八下等 ヲ 4): = 於 混 w ラ ズ 力 w 行 動物二 ŀ v ス 步 ø w

great superficial

petrosal nerves)

are

probably entirely or almost entirely Camposed of taste

Froriep(9)氏

۱ر

下

等

脊

椎

動

物

.)

下

顎

部

j

皮

膚

=

分

m

ス

jν

枝

ヲ

皷

索

神

經

=

比

較

セ

リ、然

V

Æ

余

思

フ

fibres."

ŀ

云

ŋ

=

魚

頫

=

於

ケ

w

腔

底

粘

膜

=

分

循

ス

w

粘

膜

枝

水

陸

兩

棲

類

ノ

鹵

槽

햬

經

Z

alveolaris (Fischer.

Watte-

Hermann, Λ 間 丿 凌 Rauber, 大 岩 樣 Schwalbe.) 寣 神 經 7 或 H = ۱۰ خر 蝴 皷 索 蝶 楠 經 葢 裥 (Cloquet, 經 節 3 Higel, y 存 顏 Stick)面 萷 ズ 經 1 = 成 向 分 ッ ヲ テ 含 經 有 過 ス ス jν w ŀ 知 云 覺 ブ 纎 假 維 說  $({
m Henle},$ ヲ 說

明

ス

w

=

足

iv

所

見

٧٠

各

動

物

比

較

ノ

上

=

於

テ

٧٠

モ

在

也

氏 解 哺 如 ヲ 混 ク ヲ 乳 ハ 皷 實 異 哺 -10° 索 ザ = غ 物 神 此 ル ス 及 說 Strong(37)氏 經 ヲ ピッ = 以 7 V 左 間 此 テ 高 袒 ス 1 者 詖 可 垒 キ 動 = 索 ٠, 下 シ 蒯 モ 物 筚 1 1 テ Gegenbaur(11) 經 淺 有 ナ = 大 ラ 題 此 岩 較 ン 動 樣 ŀ 物 ス 部 ノ 回 Dixon(4)前 口 丰 K 杰 經 下 ハ 等 湔 = 氏 水 比 經 動 陸 ハ 較 ヲ 物 ,,Both 皷 兩 ス = 棲 索 於 可 類 神 ケ キ thesenerves 1 經 jν æ 口 , = 顏 葢 比 面 = 輌 較 7 萷 ( the經 經 ラ セ = y, ズ 1 chorda 枝 Gegenbaur 及 ハ シ 筋 テ ハ = 學 tympani Strong 分 者 循 = 氏 由 ス Ľ" テ ノ jν Dixon 其 言 纖 維 見 Ż

易苨 velle, P 試 經 (Fischer, Osawa.) 驗 = 或 北 及 ハ Wilder) 較 他 F. 1 ス 腦 床 可 叉 誧 Ŀ キ ۱ ند ハ 經 = æ -F 哺 於 ) 3 顟 乳 IJ テ -7-枝 動 混 證 ラ 物 明 ٠Ł`` ン mandibularis 丽 及 シ セ F, 成 ラ シ 人 孙 jν テ 間 -)-Λ ` 間 1 jν 所 (Gaupp, 皷 ナ , 7 索 皷 = v 脯 素 就 Æ Stannius) 裥 經 テ 其 加 經 = ۰۷ 此 諸 經 ハ 酸 分 紪 說 ス ŀ 維 泌 紛 纎 可 名 Þ ۸. 維 果 キ " \_\_\_ 及 モ ケ 致 y 顏 7 F. ラ セ 味 ナ ズ 面  $\nu$ 覺 黼 ラ 夕 Morzant, 經 纎 ン jν īnī 枝、爬 維 = 固 ヲ シ Bernard, 蟲 混 ァ 有  $\lambda$ 類 ズ ナ 間 w jν 1 Lussanna, 皷 纎 1 7 皷 索 維 ハ 動 索 神 ナ 經 物 斾 w

Steiner, Rauber

쑠

۱۹

皷

索

神

經

ハ

顔

面

咖

經

=

固

有

-)-

jν

成

分

ナ

jν

事

ヲ

稱

道

シ、此

/

=

反

シ

テ

Schiff, Erb

易虎 七十二 筹 言志 奈伯 當 全十 neus 哺 顏 ダ 峬 ŋ 前 # Rauber 乳 惠. 丽 w 經 經

氏

孪

1

說

=

楂

同

せ

**ン** 

ŀ

欲

ス

n.

顏

面

諸

筋

=

分

俪

ス

w 如

Æ ク

7

7

經

۱د

舌

骨

部

=

孙

循

シ

居

タ

iv

筋

ァ

部

1

顏

面

筋

Ξ.

戀

形

3/

ケ

N

否

下

顎

神

經

1

皷

索

赊 酸 味 べ 隱 譽 ス タ 咖 म 舢 N 經 キ 如 經 郙 ŋ 纎 纎 經 他 維 維 ۰۰ • ヲ 腦 顏 チ П 詖 腍 꺠 面 索 底 神 經 結 訹 經 ŀ 郷 膜 複 = 雜 分 ナ = 大、分 ナ 與 部。 循 w ス 孙、 吻 jν **≥**⁄ 2V 70 テ 合 Æ 顏。 味 ヲ , 營 面。 鷽 ナ 一順 ヲ w ⇁ ザ 經。司 事 ヲ = > ١, w 根。 下 w 稱 元。 等 モ 乜 的。 7 動 y ه يــ 物 m 2 含了 如 = 有、 3 於 テ 魚 故 スト 15 頮 120 二 w 織っ 高 Λ ノ 條 維。 間 垒 7. 動 下 顏 ラゝ 物 \_ 於 面 1 1.0 神 皷 ラ 思。 經 索 余 考》 = 神 1 混 旣 スマ 經 即 ズ = == チ w 北 述

=

叉

햬

經

7

第

---

枝

3

y,

Stick

۱۰

Ξ

叉

꺠

經

1

第

Ξ

枝

3

y,

Bruck,

Carl, Gegenbaur

۱ز

舌

胭

斾

經

3 ŋ

實 7 勈 官 埔市 二 7. = 孙 = 巡 連 Λ 物  $\nu$ テ 間 及 シ 1 力 Æ テ 顏 舌 Ŧ F. 終 1 此 枝 面 骨 胎 次 人 間 枝 w 種 ガ Ξ 生 孙 弓 1 後 ノ 1 皮 顏 關 鬳 偷 1 初 \_3 \ 轉 主 係 期 面 ス = 分 N M. ŀ 胂 = 於 シ 經 致、亦 淮 俯 = Λ 化 テ テ ノ ス 至 間 舌 主 w IJ ス Æ 幹 下 骨 枝 ₹/ w 後 於 ヲ æ = 쏳 弓 幹 從 部 ァ 刕 ノ 動 E ナ テ 物 7 ٠٠ ブナ 認 水 IJ Ŀ 筋 ッ = 2 (His(17), 方 於 及 陸 ۱ر 有 テ w = ۴, 兩 見 所 顋 韓 此 棲 類 = 動 3 w V Rabl(31), 又 爬 2 物 如 1 舌 蟲 テ カ 3 EII 骨 ŋ 顏 系 類 チ 哺 弓 ナ 面 = Popowsky(30)) 於 人、乳 部 萷

作 下 シ 用 テ 奪 其 動 1 物 稪 雜 1 = 於 ŀ 何 7 テ 見 w 力 = ラ w 從 何 所 ラ 1 V 唦 = ^ 自 叉 合 枝 己 ᡤ 經 ヲ ノ 舌 成 增 孙 匨 シ 或 ヲ 神 w 沃 經 唦 w 及 合 ۲\* モ 枝 洣 1 ナ 走 ハ 他 媊 w 7 4 經 神 ハ ŀ 經 確 1 枝 吻 葍 成 シ 合 枝 分 難 7 ケ ハ 顏  $\nu$ 人 誾 面 Æ 神 生 = 於 經 物 テ = 1 導 高 Æ " 筚 見 E ŀ w ナ 所 -}y ٠.,

superior)

ハッ

其、

レ、

ス、

12/0

E,

ノゝ

ナマ

ラゝ

ンゝ

間。 動

F. =

皮。

神。 ゔ゙

經。 追

Subcuta-

ノ、物

頸、至

下、迄

w

及

**≥**⁄

得

~}

(原

著

maj."等 ゼ minus und des werden men stylomastoideum weiterhin zu ihm stossen" Hermann(15)氏、"Sowohl innerhalb des Felsenbeins als auch ausserhalb des Fora-Eigenschaft erst durch die Zweige des N. trigeminus, vielleicht auch des N. vagus, die im Canalis facialis und ラ 本、 シ ン 來》 伙 dem Facialis sensible Fasern zugeführt, und zwar aus dem Trigeminus durch = > w , V 知》 記 ŀ Æ 覺` 載 云 Henle(14) 氏ノ Vagus her, die sich der Facialisbahn anschliessen.,, Rauber(32) 长 神。 フ , 經、 如 = 纖` 至 ist der N. facialis und deutlicher Sensibiliät begabt; dieselbe rührt von Fasern des ŋ 維、 IJ 唦 ヲゝ 合 ラ ŧ, 枝 "Der Faciaris führt ursprünglich keine sensible 含` 余 ハ 有。 純 7 スゝ 省 粹 iv o 肯 1 E 運 セ 動 ザ 性 神 所 = 經 タ 3/ jν テ 顏 實 面 = Gegenbaur 氏 神 經 ヲ シ テ Fasern und gemischt 混 ノ √ "Schon in Canalis facialis 記 合 den 繭 載 經(知 , N. petrosus superf. 如 覺 ク 運 顏、 面、 動 sensible 神。 經、 變

第  $\equiv$ 槪 括

7.

ラ

テマ 余 Ŀ 述 ۱ذ ノ Dixon 比 較 氏 記 載 1 ,,The = 由 v facial nerve ۲۱۴ 大、 體, = **7** in 於、  ${
m man}$ テヽ 人、 S. 間。 Ħ. 10 හා 颜、 condition comparable 面、 神、 經, ٠, ١ 下。 等。 動、 物。 with 其 that いっ = > which 致` スト obtains JV > モゝ

混、 合 性 神。 間 經、 ナゝ 顏 ラゝ 面 神 經 ۱۷ 下 等 動 物 = 於 ケ jν ガ 如 ク 本**`** 來**`** 知` 覺、感 覺(味覺)及 ベビ運動 性 纎、 維、 ヲゝ 混、 w.

lower animals."

=

賛

成

ス

以 上 1 疑 問 ハ 該 神 經 1 H 樞 及 尙 他 , 材 料 = 就 テ 精 密 -}w 檢 查 ヲ 逐 ゲ ø v 後 初 才. テ 氷 解 ス w 毛

可 ナ ŋ ŀ 信ズルヲ以テ余ハ此研究ヲ 繼續シ他日成績ヲ得バ其是非曲 直ヲ諸家 ニ問フノ期アル

. 1

此稿 レ、且ッ戦籍跋陟 ヲ終ルニ當テ一言謝セント欲スルハ大澤博士が此研究ノ材料ヲ與ヘラレ、懸篤ニ示導セラ ニ向テ殊 ノ外自由ト便利ヲ與ヘラレ タ ル事是ナリ

引用書目

Ahlborn, Fr., Über den Ursprung und Austritt der Hirnnerven von Petromyzon. (Zeitschr. f. wiss. Zool. Bd. 60. 1884 S. 289-308.)

- c4 S. 131-153.) Alkock, R., The peripheral distribution of the cranial nervs of Ammocoites. (Journ. Anat a physiol. 1899
- August, C, Ein Beitrag zur Frage: Enthalt die chorda tympani "Geschmacksfacern"? (Arch f. Ohrenheilk. Bd. 10 Heft 2-3 2876) Dixon, F., the sensory distribution of the facial nerve in man. (Journ. of Anat. a Physiol. Vol 33 1899.
- s. 471-492.) Ellenber, W., Mueller, C., Handbuch der verglichenden Anatomie der Hansthiere. 8 Aufl. 1896, s. 772.
- ೦ಾ Fischer, G., Gehirnnerven der Saurier 1852. s. 23
- Derselbe, Anatom, Abhandlungen über die Perennibranchiaten u. Aerotremen, 1864 s. 132
- Froriep, A., Über die Anlage von Sinnesorganen am Facialis, Glossopharyngeus u. Vagus. (Arch. f.

會全十

高高 茶種

æ

器力十八

- 9. Dersulbe. Über das Homologen der Chorda tympani bei niederen Wirbelthiere. (Anat. Anz. Bd. 2. 1887. s. 486.)
- 10. Gaupp, E., Anatomie des Frosches. II Abth. 1 Heft. 1897. s. 143.
- 11. Gegenbaur, C., Vergleichende Anatomie der Wirbelthiere IBd. 1798 s. 809.
- 12. Derselbe, Lehrbuch der Anatomie des Menschen II Bd. 1899. s. 472.
- 13. Geronowitsch, N., Der Trigemino-Facialis Kamplex von Lata vulgaris. (Festschr. zum siebenzigsten Geburtstage von C. Gegenbaur. Bd. III 1897. s. 4-41.)
- 14. Henle, J., Handbuch der Nervenlehre der Menschen, Brannschweig. 1876.
- 15. Hermann, L., Handbuch der Physiologie. II Bd. Heft. 1879. S. 252.
- 16. Herrich, C. J., The cranial nerv camponents of Teleostei Anat. Anz. Bd. 13. 1895.)
- 17. His, W., Anatomie menschlicher Embryonen. B. B. 1885. s. 88.
- 18. Haffmmann, Classen u. Ordnungen des Thier-Reiches. (Amphibien: 18. 78. s. 208. Reptilien: 1890. s. 144, 758, 1483.)
- 19. Humphry, G. M., Muscles and Nerves of the Cryptobranchus japonicus (Journ. of Anat. a. Physiol. Vol. VI. 1872. p. 46.)
- 20. Kahlbrugge, J. H, F., Die Homotypie des Halses u. Rumpfes (Anhang, der N. facialis und seine Mus-

- keln) (Arch. f. Anat. u physiol. 1898. s. 254.)
- 21. Könige, E., Zur Geschichte der Anatomie der Hirnnerven. (Inang Diss. Freiburg i. B. 1897.)
- 22. Krause, W., Handbuch der menschlichen Anatomie. IIBd Aufl. 1879. 850.
- 23. Derselbe, Anatomie des Kaninchens. 2 anfl. 2884.
- 24. Müller, F., Lehrbuch der Anatomie der Hausthiere. 3 Aufl. 1885. s. 471.
- 25. Nuhn, A., Lehrbuch der vergleichenden Anatomie. II Theil. 1878. d. 856.
- 26. Osaw, G., Beiträge zur Anatomie der Hatteria punktata. (Arch. f. microskop. Anat. u. Entwicklungsgesch. Bd51. 1898, s. 609.)
- 27. Derselbe, Beitrage zur Anatomie des japanischen Riesensalamanders, (Abdr. a. d. Mitteil. aus der medic. Facultät der keiser!....japan. Universitat zu Tokyo. Bd. V. 1902. s. 89.)
  - 28. Pinkus, F., Über einen noch nicht beschrieben Hirnnerven des Protopterus. (Anatom. Anz. Bd. 9. 1894. s. 562.)
- 29. Derselbe, Hirnnerven des Protopterus annectens. (Morphol. Arbeit. Bd. 4. 1895. s. 30.)
- 30. Popowsky, J., Zur Entwicklungsgeschichte des N. facialis beim Menschen. (Morphol. jahrb. Bd. 23, 1885, s. 330-372.)
- 31. Rabl, K., Über das Gebiet des N. facialis. Anatom. Anz. Bd 2. 1887. s. 219.)
- 32. Rauber, A. Lehrbuch der Anatomie des Menschen. IIBd. 5 duff 1898.

- 33. Ruge, G., Über das peripherische Gebiet des N. facialis bei Wirbelthieren. (Festschr. zum siebenzigsten Geburt-tage von C. Gegenbaur. Bd. III. 1897. s. 196-344.)
- 34. Schneider, A., A., Über die Nerven von Amphioxus, Ammocoites u. Petromyzon. (Zool. Anz. Bd III. 1880.)
- 35. Schwalbe, G., Lehrbuch der Neurologie. II Bd. 1881.
- 36. Stannins, Handbuch der Anatomie der Wirbelthiere. Bd II. Anfi. 1854-1856.
- 37. Strong, S., The structure and homologies of the cranial nerves of the Amphibia as determinal nerves of the Amphibia as determinal by their peripheral Distribution and internal Origin (Anatom. Anz. Bd. 7. 1892. s. 467.)
- 38. Tiesing, B., Ein Beitrag zur Kenntniss der Augen, Kieferund Kiemenmuskulatur der Haie und Rochen. (Jena. Zeitschr. Bd. 30. 1896. s. 97.)
- 39. Vetter, B., Untersuchung zur vergleichende Anatomie Kiemen u. Kiefermuskulatur der Fische. (Ebendaselbst. Bd. 8. 1824. s. 406.)
- 40. Derselbe, Kiemen und Kiefermuskulatur der Fische. (Ebendaselbst. Bd. 12. 1878. 433.)
- 41. Waldschmielt, J., Zür Anatomie des Nervensystems der Gymnophionen. Ebendaselbst. Bd. 20, 1887. s. 470.)
- 42. Watteville, B., Discription of the cranial and spinal nerves of the Rana. esculanta. (Journ, of Anat u.

Physiol. Vol. 9, 1875, P. 154,)

- £ 23 Wildersheim, R., Grundniss der vergleichenden Anatomie der Wirbelthiere. 3 Anfl.
- 44 Derselbe, 4 Aufl. 1902. s. 255.

der Thiere. Bd. 4. 1891. s. 976.)

\$ Wilder, H., A. contribution to the anatomy of Siren lacertina. (Zoolog. Jahrb. Abtheil. f. Anat u. Ontog.

日本人ノ 脊 髓 第 一報告) (承前)

剖

京都醫科大學解

久

學

敎

室

=

於

テ

醫 學 得 業 士京都醫科大學助手

保

汽 (都京)

ノ長 サ ŀ 脊 柱 各 部 1 長 サ þ *)*: 比 較

第

Ŧ.

脊 髓

各 部

Vergleichung d. Länge einzelner Rückenmarksabschnitte mit derselben einzelnen

Wirbelsäuleabschnitte

耆 余 日、 1 ٠ 比 此 關 較 係 = 際 ヲ シ 知 ラ 先 4 長、 17/10 ガ 余 為メ、又豫 ガ 此 成 績 × 前 ヲ 記 約 \_\_ 述 + セ Ŧi. L 名 ŀ 1 ス 死 體 = 就テ脊柱各部 زر · 長ッ Æ 計 測 セ

リ、今雨

(原